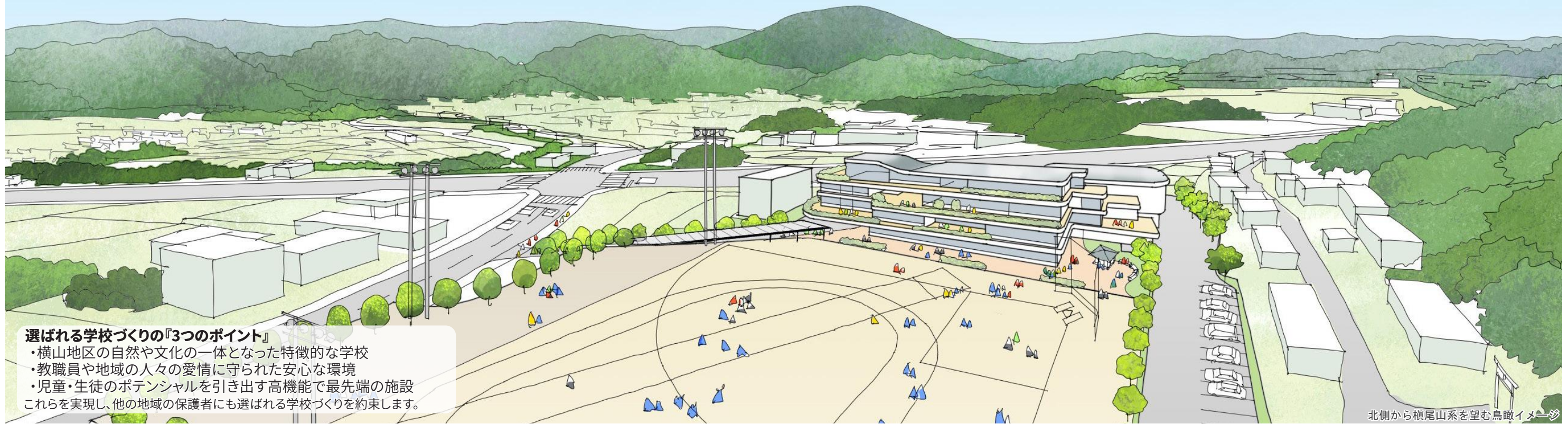


# 「(仮称) 横尾学園整備の基本的な考え方」を具現化する、道しるべとなる学校計画を立案します。



**選ばれる学校づくりの『3つのポイント』**

- ・横山地区の自然や文化の一体となった特徴的な学校
- ・教職員や地域の人々の愛情に守られた安心な環境
- ・児童・生徒のポテンシャルを引き出す高機能で最先端の施設

これらを実現し、他の地域の保護者にも選ばれる学校づくりを約束します。

北側から横尾山系を望む鳥瞰イメージ

## 1. 魅力ある学校づくりへの実施方針・実施体制

### ① 「(仮称) 横尾学園整備の基本的な考え方」

(以下、基本的な考え方)を活かします

和泉市では平成29年度より全市で小中一貫教育を実施されており、南松尾はつが野学園から始まり小中一貫校の整備も着実に進められています。

2校目となる本校の計画・設計においては「基本的な考え方」をはじめ、これまでに開催された意見交換会や準備委員会での議論を理解するとともに、はつが野学園からのフィードバックも取り入れ、さらに深化・発展した施設一体型義務教育学校を実現します。



### ② 横尾中学校区に環境に適し、地域に開かれた学校づくり

「トカイナカ」をコンセプトに、市街地の学校にはない環境特性により、自然や農業などの地域資源を活用した多様な教育手法を視野に入れます。

「特認校」として児童や生徒、保護者に選ばれる横尾ならではの魅力溢れる学校づくりを実現します。

旧小・中学校での行事や歴史を継承する計画とし、地域とのつながりをより深める提案を行います。



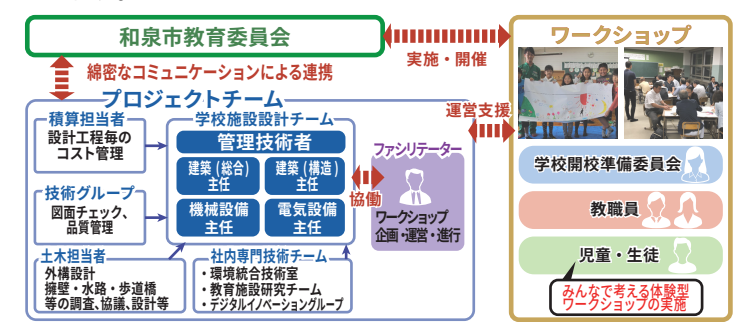
## 2. 豊富な学校実績を持つ担当者と全社的な支援体制

### ① 豊富な学校実績を有する設計チーム

小中一貫校をはじめ学校建築の豊富な実績を持つ担当者を中心にプロジェクトチームを構成し、確実なスケジュール管理のもと業務に取り組みます。

技術士（建設部門）、土木・造園の施工管理の有資格者を配置し、多岐にわたる土木工事の調査・協議・設計を円滑に進めます。

積算担当を配置し、基本計画における整備パターン別の概算資料や基本設計の工事概算を適切に作成し、コスト管理に務めます。



### ② 数多くの実績を持つ全国的組織設計事務所として、ノウハウ豊かで強靱な支援体制

創立92年の歴史の中で様々な教育施設の実績を有し、小中一貫校（連携校を含む）についても全国で7校の実績を有しています。ノウハウを蓄積した教育施設研究チームが本業務においても設計支援を行います。



## 3. 対話と提案を重視した取組方針

### ① 学校づくりを専門とするファシリテーターとの協働

ワークショップの豊富な経験を有する管理技術者、建築（総合）主任を配置し、児童、生徒、PTA、地域住民、教職員等との対話を大切にしながら業務を進めます。

学校開校準備委員会や教職員等ワークショップでは、学校づくりの実績が豊富なファシリテーターと協働し、効果的な雰囲気づくりにより、誰もが新一貫校の運営や授業、活動について考え、意見しやすいワークを行います。

経験豊富なファシリテーターにより意義深い委員会、ワークショップを実現し、本校の特色（ブランディング）を関係者とともに考え、基本計画にまとめていきます。

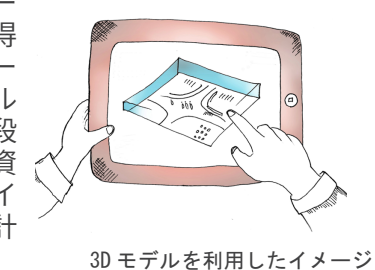
### ② 児童・生徒も参加する体験型のワークショップ

児童・生徒が参加する楽しい体験型のワークショップを、授業の中で開催することを提案します。体を動かし、みんなでつくる自分たちの新しい学校づくりに、直接的な関わりを実感できるワークショップとします。



### ③ デジタル技術を活用したわかりやすい資料づくり

社内のデジタルイノベーショングループの協力も得ながら、BIMによる3Dパースやウォークスルーツールや模型等のさまざまな手段を用いて、わかりやすい資料を作成し、関係者とイメージを共有しながら設計を進めます。



## 4. ロードマップによるチェックを行い、確実な業務遂行

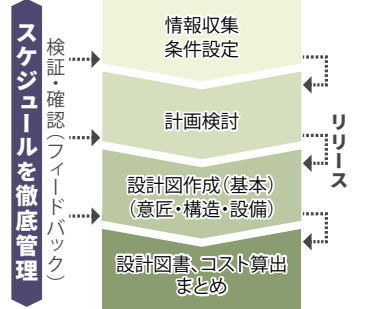
### ① フロントローディングによるスケジュール管理

基本計画の初期段階では、集中的に複数の整備パターンを提案し準備委員会などで幅広く議論を行い、限られた時間の中で関係者が納得できる計画へと導きます。

### ② ロードマップを作成し、業務の到達点を共有します

業務の着手前に教育委員会と協議し、各段階の目標（到達点）、成果品イメージ、コミュニケーション、情報管理方法の明確化を行います。

短期間の基本設計に備えて、基本計画の中で配置計画、平面計画を確定することを目指します。基本設計段階では、各室の設えや教育環境を豊かにする様々な工夫を児童、生徒、教職員、地域と共に考える時間を確保し、計画に反映します。



### ③ ステップごとの検証・確認を繰り返します

基本計画、基本設計の各終盤で、上位計画のコンセプトや整備方針との整合性を確認し、不適事項があれば次の段階へ正確にフィードバックを行います。

### ④ 設計施工一括発注を前提とした基本設計の取りまとめ

実施設計者に設計主旨を正確に伝えるために精度の高い基本設計書を作成し、要求水準を的確にまとめます。

開発協議などの関係各課との協議を前倒しで実施し、実施設計条件に盛り込みます。

実施設計監修業務においては、実施設計者への意図伝達、質疑回答、実施設計図の内容確認等について、定例会を設定し、段階的なレビューにより、確実かつ速やかに業務を遂行します。